

令和3年度限定 全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会 組み合わせ基準

2021年4月29日

全日本学生バドミントン連盟

全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規程第5章第28条～32条を適用し、シード決めは原則として次の通りとする。

シードを選出する際はポイント制で行う。尚、ポイントの配点は表1・表2・表3・表4・表5の通りになる。

1. 次の①～②により、1-16までシードする。ただし、準決勝・準々決勝が昨年度と同じ対戦は避けるものとする。

※ ①は令和元年度（と平成30年度）結果を基に「添付資料の方向性」に沿って決定する。

ただし、本大会は「ポイント制」を採用しているため、比率によって各地区学連に割り振られた選手組のシードは、抽選ではなく合計ポイント（過年度含む）のランキングでシード位置が決定される。

①前年度本大会の試合結果（表1）・直近の日本ランキングミックスダブルスランキング（表2）・前年度全日本学生バドミントン選手権大会のダブルス試合結果（表3）・シングルス試合結果（表4）・全日本学連推薦者（前年度I.H.単複ベスト8以内：表5）のポイントに基づき、男女の合計ポイントの高い順に1-16までシードする。

②シードが埋まらない場合は、3. 自動抽選

2. 各地区から推薦により出場している組のうち、各地区の参加組数の比率を基に、下位から「関東3組・関西3組・中部・北海道・東北・中四国・九州各2組の計16組」を選出し、第1から第8のシード下に入れる。シード下の位置は抽選により決める。シード下の極端な不都合は、抽選組間で入れ替える。

※有資格者 前年度全日本インカレ男・女ダブルスベスト32以内
前年度全日本インカレ男・女シングルスベスト32以内
前年度本大会ベスト8位内
全日本学連推薦者；若干組（新入生等：I. H. 単複ベスト8以内）

推薦者 東日本16組（北海道4組・東北4組・関東8組）
西日本18組（中部4組・関西6組・中四国4組・九州4組）

3. 以降自動抽選

4. 日本バドミントン協会の要請で各種大会に派遣される場合及びその他の特別な理由により、該当選手が上記シード基準に適用されない場合は、そのシードについて考慮する場合がある。

★ポイント計算：

前年度全日本学生ミックスダブルス選手権大会（表1）

前年度の順位	ポイント
第1位	5点
第2位	4点
ベスト4	3点
ベスト8	2点

直近の日本ランキング：ミックスダブルス（表2）

順位	ポイント
ベスト4	6点
ベスト8	5点
ベスト16	4点

前年度全日本学生バドミントン選手権大会：男女ダブルス（表3）

前年度の順位	ポイント
第1位	4点
第2位	3点
ベスト4	2点
ベスト8	1点
ベスト16	0.5点
ベスト32	0.25点

前年度全日本学生バドミントン選手権大会：男女シングルス（表4）

前年度の順位	ポイント
第1位	3.5点
第2位	2.5点
ベスト4	1.5点
ベスト8	0.5点
ベスト16	0.25点
ベスト32	0.15点

全日本学連推薦者（前年度 I. H. 単複ベスト8以内：表5）

前年度の順位	ポイント
第1位	3点
第2位	2点
ベスト4	1点
ベスト8	0.5点

- ① 上記表で合計ポイントを計算する。
- ② 1人に各大会の中で一番高いポイントが与えられる。パートナーと2人の合計点がミックス1組のポイントになる。
- ③ 前年度と同じ組で参加している組は、2人合計のポイントから更に1点加点する。
- ④ 同ポイントの場合は、抽選によりシード順位を決定する。
- ⑤ 推薦者のポイントは無し。

★各地区学連から推薦された選手が、有資格者とペアを組んだ場合は、その人数を繰り上げし、各地区学連推薦枠はそのままの枠数とする。

★1回戦は、昨年度と同一対戦は避ける。

★4ブロック内での地区バランスを考慮する。

★関東と関西の地区バランスは、極端な偏りを除き原則として考慮しない。

※ 各地区学連は参加申し込みの際に「学連内ランキング（個人）」「直近の日本ランキング 16位内の選手名簿（ランキングを付して）」を主管学連に提出すること。

以上

【組み合わせ会議の効率化】

※大会の主管学連は、組み合わせ会議当日までに組み合わせ原案「1案：16シード」を準備する。

- ① 上記の基準に沿って「シード決」及び「シード下決」を行い、アサミ大会運営ソフトに入力を完了しておく。
- ② シード内での「組み合わせ検査」を完了しておく。
- ③ 原案作成手順を「説明資料」として添付する、特にシード内での変更が生じた場合は理由を明確に記載すること。

※最終案を基に自動抽選後の★印等を調整して組み合わせを確定する。この際、上記基準以外のバランス（パワーバランス等）は極端な場合を除き、原則として調整はしない。

※抽選はコンピュータでランダム関数を使用してもカードやダイス等を使用しても数学的確率は同等である。

➡原案作成方法（ランダム関数 or カード）は主管学連の判断による。